

2025年度 第1回 介護医療連携推進会議

- 開催日時 2025年 8月20日(水) 16:00~17:00
- 開催場所 在宅支援センター 甲州ケア・ホーム東側会議室
地域住民代表者:川合、上野、太田
笛吹市 :有賀(都合により1名欠席)
施設側役職員:磯野、関口、保坂、土橋

2025年度、第1回目の介護医療連携推進会議を開催いたします。

1. はじめの挨拶

甲州ケア・ホーム 磯野ケアサービス部長より

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所は笛吹市に1つしかありません。

本年度より就任いたしましたので、手探りの状態ですが、事業所の報告をさせていただき、現状を理解していただくとともに、今後も事業を継続できるようにと考えております。よろしくお願いいたします。

2. 議題

◎事業所の現状報告について 関口事業所長より報告

1. 定期巡回サービスについて

- ・サービスの概要を簡単に説明

2. 利用状況・訪問状況

- ・R7.7月末現在 定期巡回サービス利用者9名で推移している。
新規利用者3名受け入れ
利用中止1名(介護老人保健施設へ入所)
利用終了2名(県外施設へ入所、介護認定更新に伴い訪問介護へ移行)
- ・利用につながらなかったケースとして以下があげられる。
他のサービスを優先すると限度額オーバーになり、サービスの調整が出来ない(毎年の課題)
要介護度に見合わない過度な訪問回数依頼
- ・地域別は石和6名、御坂2名、一宮1名。(境川、八代、芦川の利用者なし)
- ・訪問時間は1日20分未満の訪問が半数を占めている。体調不良や身体介護等で訪問時間が長くなること
がる。要介護度によって定額料金が上がるが、訪問回数に大きな差がない状況にある。訪問は必要である
が、介護度に見合っていない訪問回数や訪問時間になることが多々ある。

3 サービス利用者状況

R7.4月からサービスの利用開始の利用者(3名)

◎86歳男性 石和町 要介護2(一人暮らし) 訪問2回/日(月~金)

服薬介助・室温調整・買い物・体調確認

その他のサービス利用なし、長女夫婦の支援あり

◎83歳女性 石和町 要介護3(夫・長女と同居) 訪問3回/日(毎日)

排泄確認・水分補給・室温調整・入浴

その他のサービス⇒福祉用具、認知症の夫と統合失調症の長女のため、家族の支援は見込めない

◎86歳 女性 石和町 要介護1(一人暮らし) 生活保護 訪問1回/日(火・金除く)

食事準備・水分確認・買い物・体調確認

その他のサービス⇒デーサービス(火・金)

4 事業所取り組み

今年度、スタッフアクションカードを導入しました。アクションカードは、緊急時における行動の迅速化と適切化を目的としています。

訪問職員は、利用者の暮らしを支えるため、日々、地域へ足を運びますが、災害は突然やってきます。訪問中に災害が発生した場合、“その瞬間、どう動くか”が非常に重要で命を左右する時代です。そのため、非常時の混乱のなかでも冷静な判断をし、行動するためにスタッフアクションカードを作成しました。マニュアル形式よりも簡易で、素早い確認が可能で、災害知識のない人でも確実に対応できることが利点です。

訪問職員は基本的に1人で行動しています。地震、火災、水害等状況ごとに“今すぐすべき行動”を一目でわかる形で整備を進めています。

◎事業所における自己評価・外部評価

自己評価報告(別紙のとおり)

自己評価をもとに外部評価を依頼

(外部評価については、利用者(家族)など関係者の意見を反映してはどうか?との意見をいただきましたので、今後対応していく予定)

3. 質疑応答・ご意見

- 定期巡回サービス事業所は笛吹市では1つなのか?⇒現状、笛吹市では他に定期巡回サービスを行っている事業者はない。
- 何人くらいの職員で訪問しているのか?⇒職員は4名、1日2~3人の職員で訪問している。
- 良いサービスなのだが、要介護4以上の場合、訪問入浴が必要。定期巡回のサービスと訪問入浴を併用すると限度額をオーバーしてしまう。その辺の制度改定が必要ではないか。
- 要介護3以下の利用者が多い理由は?⇒要介護4・5の利用者は在宅生活が困難となり入所を検討します。介護度が高くなると他のサービスとの併用が必要で、限度額の関係で調整が難しい。
- 良いサービスだが、訪問時間と移動時間がネックになっているのでは?移動時間に対して何か報酬があっても良いのではとのご意見をいただいた。
- おひとり様にとって、ありがたいサービスなので、ぜひ事業を継続していただきたい。
ただ、訪問範囲を自転車で回れる程度として想定した都市型サービスなので、地方都市にとっては課題が多いのが現状。今後の事業継続について、市としても検討していきたい。

4. おわりの挨拶

甲州ケア・ホーム 磯野ケアサービス部長より

収益性の観点から経営は非常に厳しい状態ではあるが、笛吹市の唯一の事業所として、今後も事業を継続していきたい。介護人材の確保も社会的に難しく、課題は山積みではあるが、サービスとしては非常に良いサービスであると認識している。

本日いただいたご意見や質問を今後の事業運営に活かし、今後もよりよいサービスが提供できるよう、また事業を継続していくにあたり皆様のお力添えをいただきたいと思いますと考えております。

本日はお忙しいところありがとうございました。

<次回開催について>

2025年度第2回の会議は2026年2月を予定しております。